

研究の概要

20 23 年 4 月 26 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	抗セントロメア抗体陽性患者における多核受精の改善
代表研究者 (所属・氏名)：	医局 中岡義晴
研究の目的：	抗セントロメア抗体陽性患者は体外受精をすると多核受精の割合が通常にくらべ上昇する症状を呈する場合があります。これは卵子の成熟から受精までの時間の紡錘体という状態で抗体が何らかの影響を与える可能性があり、この時間を短縮する、すなわち受精時間を早めることにより多核受精の割合を下げる効果が期待されます。
調査データ該当期間：	2009 年 1 月 1 日 ~ 20 22 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	上記期間に該当する患者様で通常通りに体外受精を行った患者様に対し、顕微授精を通常よりも早めに行った患者様との正常受精率、3日目胚良好率、多核の異常受精率を比較します。
個人情報の取り扱い：	個人が特定できないように連結可能匿名化を行い、個人情報を保護しています。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6534-8824 生殖技術部門 佐藤学
備考	